



Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless

沖繩セルラー

**2024年3月期
第2四半期決算資料**

STOCK CODE : 9436

24年3月期 上期 サマリ



業績



減収増益

営業収益 : 380億円 (YoY -0.3%)

営業利益 : 92億円 (YoY +5.7%)



各事業



モバイルは通期予想に対し**順調**

FTTHは通期予想に対し**好調**

auでんきは2Qで通期予想を**上回る**進捗

モバイル

HS純増数※ : 6,300契約 (通期予想 : 13,000契約)

FTTH

純増回線数 : 3,200回線 (通期予想 : 4,000回線)

ライフデザイン

auでんき純増件数 : 2,400契約 (通期予想 : 1,200契約)

※HS (ハンドセット) : スマートフォンとフィーチャーフォンの合計

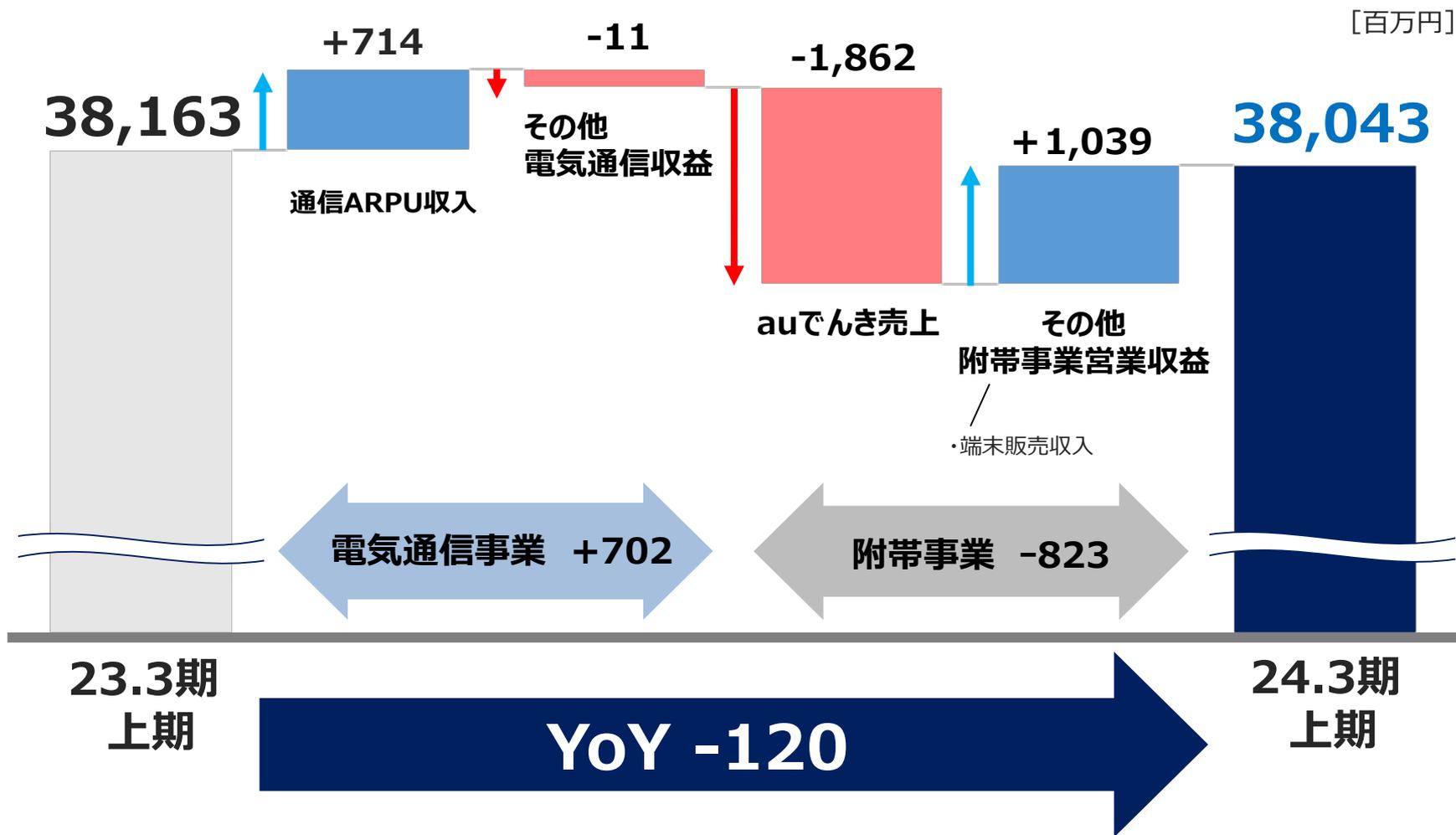
連結損益概況

[百万円]	23.3期 上期	24.3期 上期	増減	増減率
営業収益	38,163	38,043	-120	-0.3%
営業利益	8,785	9,285	+499	+5.7%
経常利益	8,837	9,319	+482	+5.5%
当期純利益*	5,980	6,550	+570	+9.5%
EBITDA	12,034	12,583	+549	+4.6%

*親会社株主に帰属する当期純利益

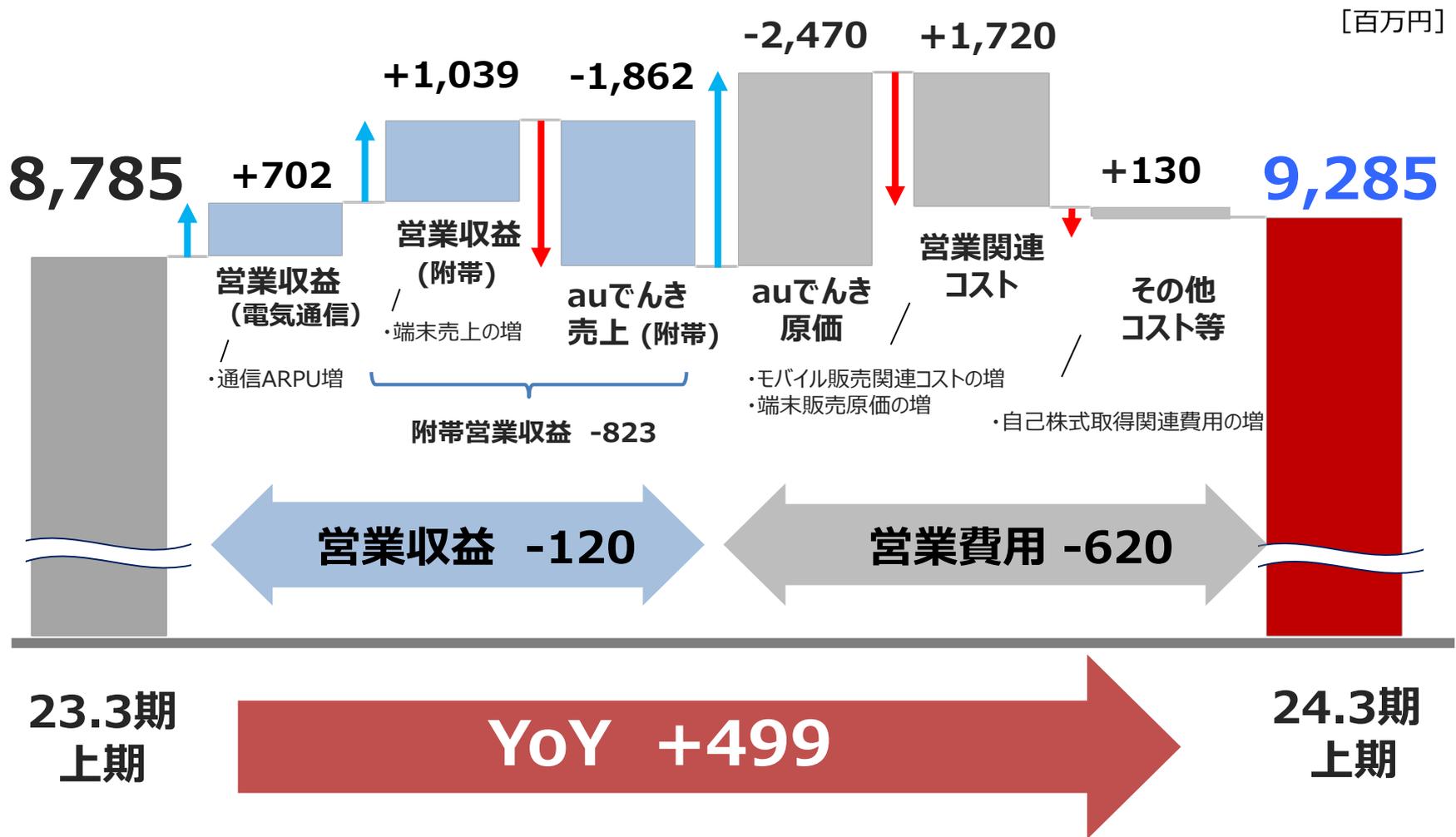
営業収益 増減要因

通信ARPU収入や端末販売収入は増加したものの
auでんきの売上減により前年並みの水準となった



営業利益 増減要因

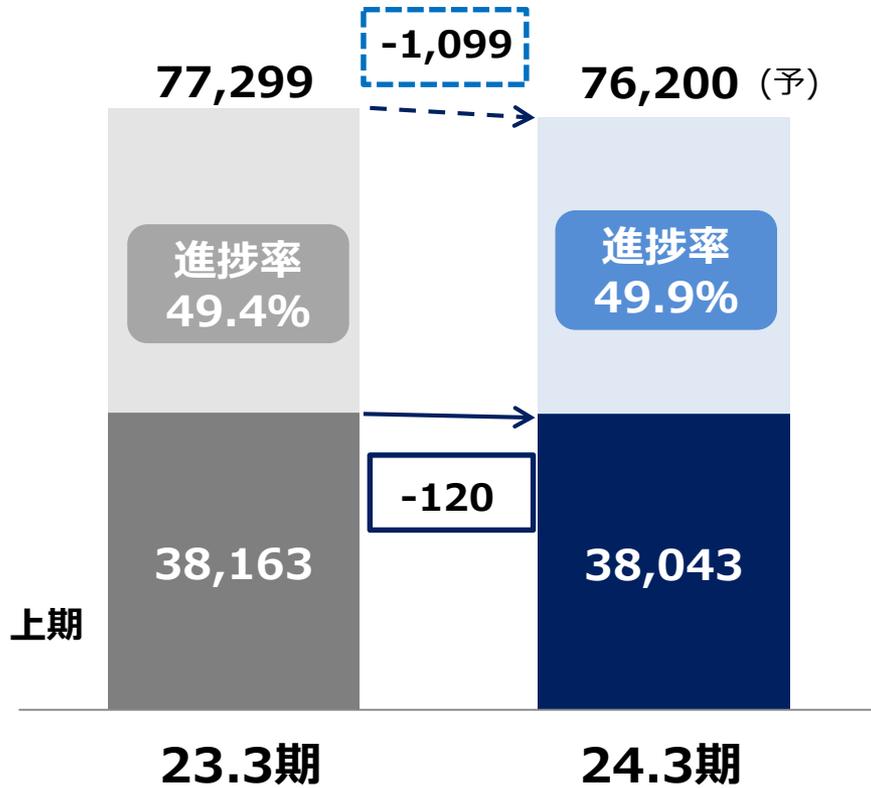
1Q減益要因の営業関連コストは引き続き増加したものの
通信ARPU収入の増加とauでんき採算改善により増益へ反転



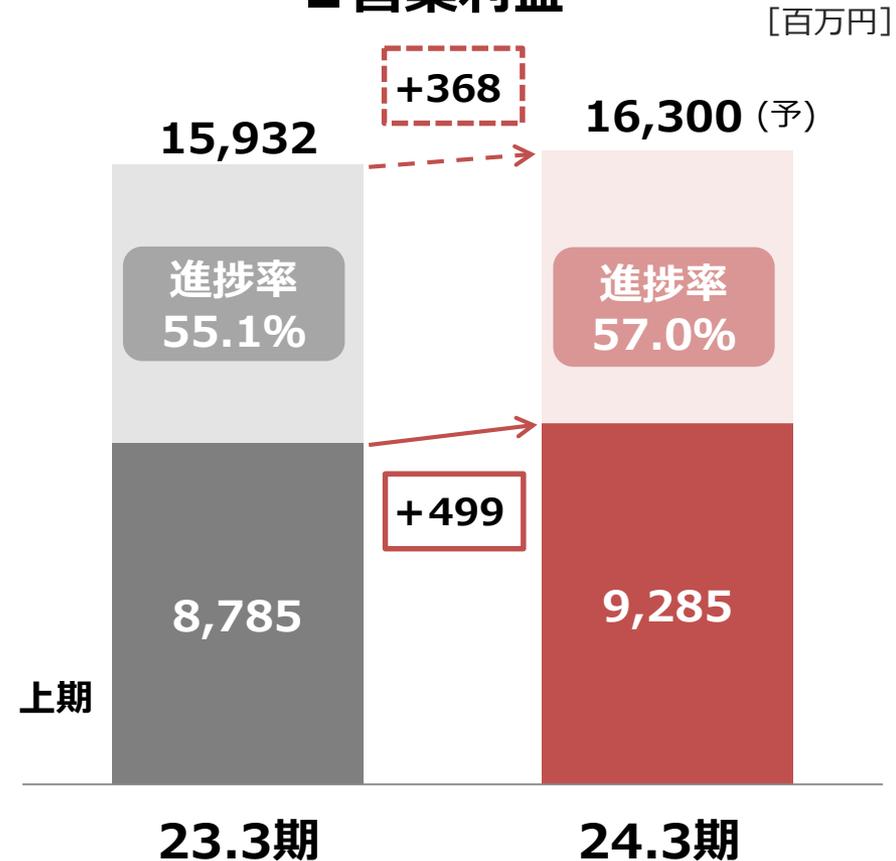
業績予想対比

営業収益・営業利益ともに前期を上回る順調な進捗

■ 営業収益



■ 営業利益

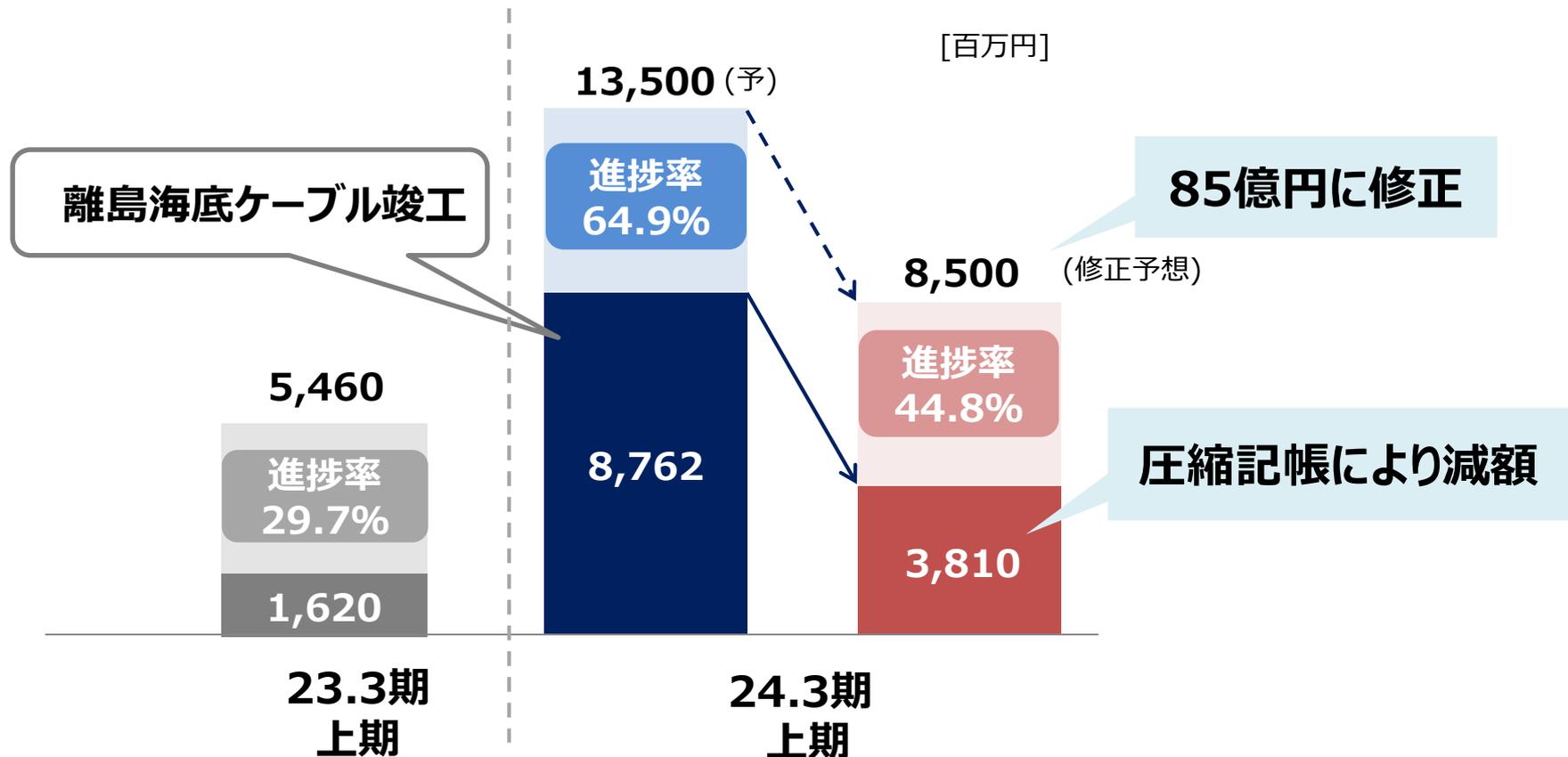


その他業績概況

[百万円]	23.3期 上期	24.3期 上期	増減	増減率
フリーキャッシュフロー	4,038	12,493	+8,455	209.4%
関係会社への 貸付増減額を除く	4,233	2,883	-1,349	-31.9%
設備投資(竣工)	1,620	3,810	+2,190	135.2%

設備投資(竣工)

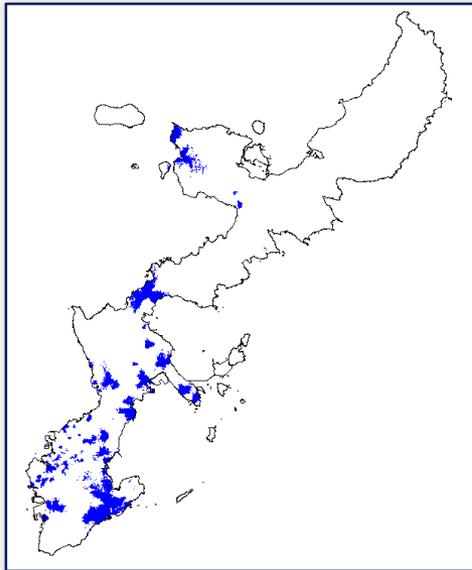
通信会社3社※で共同整備した離島海底ケーブルの他社負担分を圧縮記帳。それに伴い設備投資の通期予想を85億円に修正



5Gエリア展開目標達成

中期経営計画に対し1年半前倒しで
5G人口カバー率95%達成

2021年3月末時点



本島内人口カバー率 **20%**

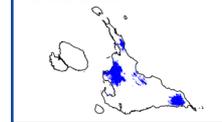


2023年9月末時点

久米島



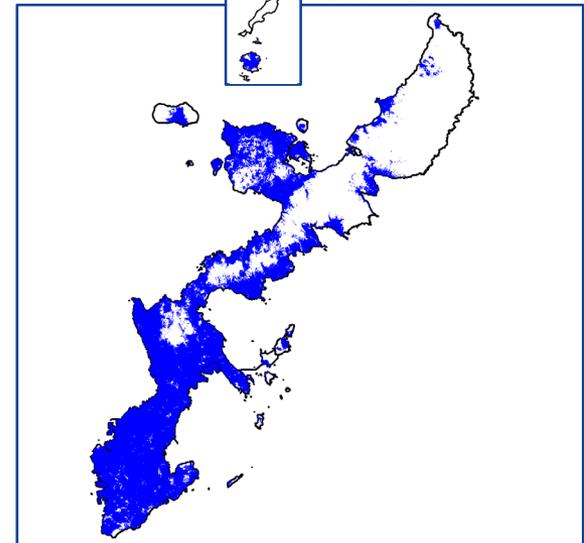
宮古島



石垣島



伊是名/伊平屋



離島含めた全島人口カバー率 **95%**

2023年6月に完成した「沖縄本島、石垣島、宮古島および久米島を結ぶ新設海底ケーブル」により、中期経営計画より前倒しで目標達成

モバイル

au povo

UQ mobile

モバイル稼働概況

前期を上回る純増を確保
端末販売台数は前期比3.8%増加

	23.3期 上期	24.3期 上期	増減	増減率
純増数	3,800	6,300	+2,500	+65.8%
総契約数	653,200	668,500	+15,300	+2.3%
端末販売台数	66,600	69,100	+2,500	+3.8%

※HS（ハンドセット）：スマートフォンとフィーチャーフォンの合計

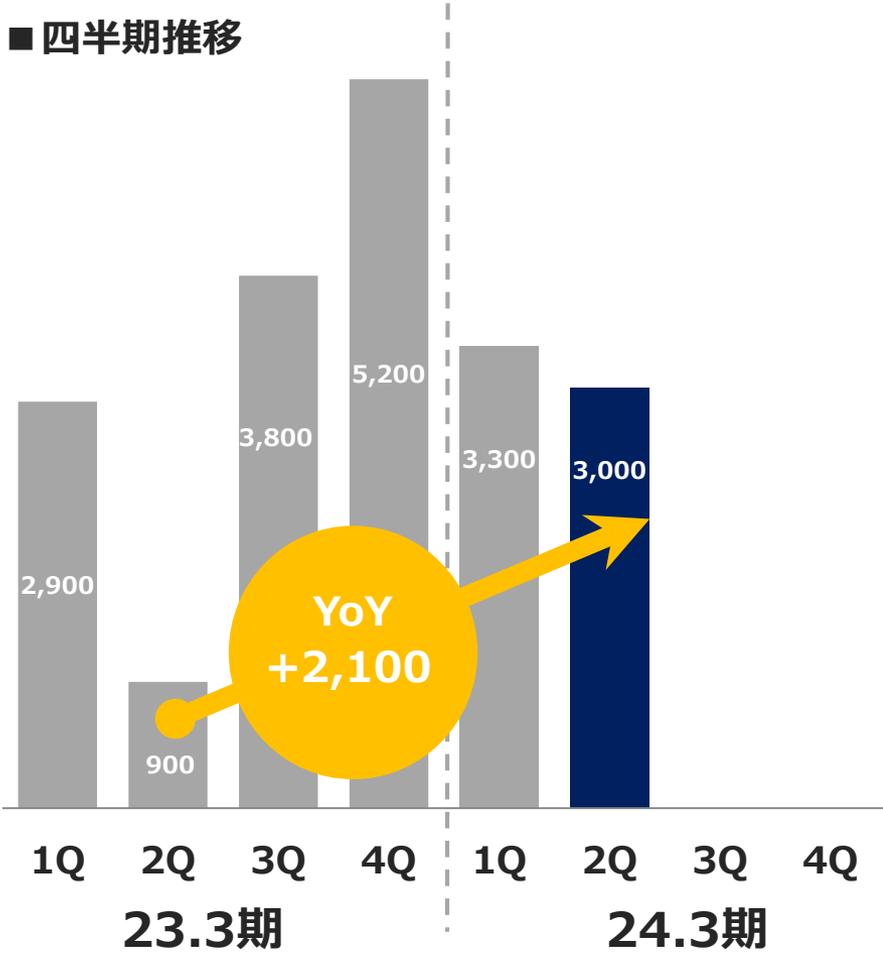
※純増数、総契約数及び端末販売台数は百契約未満を四捨五入しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。

※1) 23.3期純増数は、3Gサービス終了に伴う解約数（2,300契約）を含む

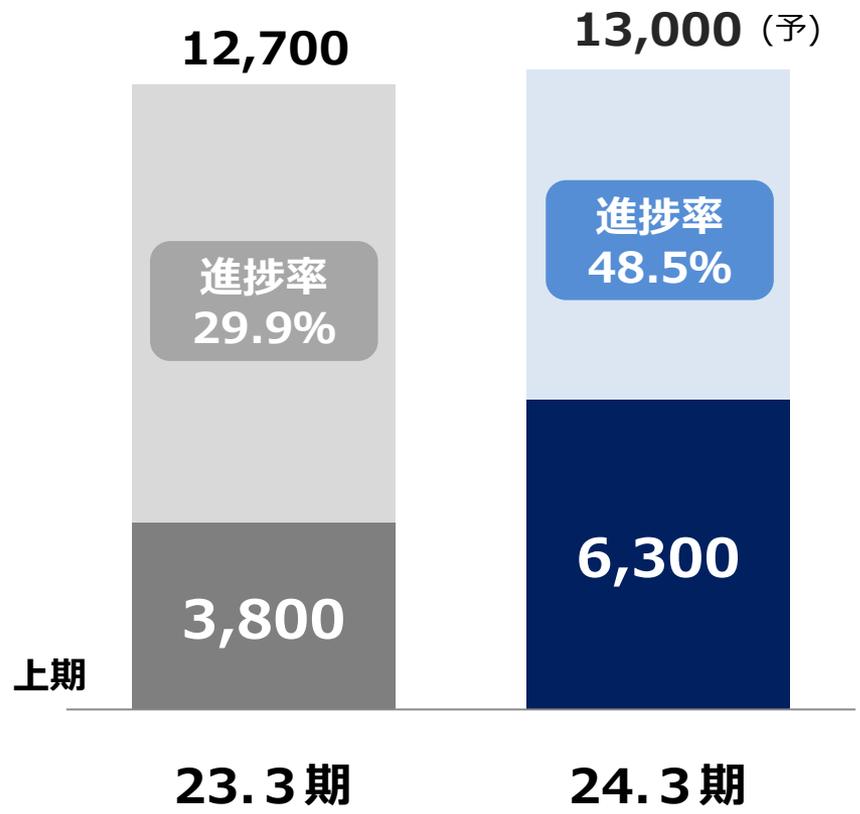
モバイル純増数

前期2Qの純増は通信障害の影響で伸び悩んだが、今期2Qは1Qに続き新規契約が好調に推移し、前期比3.3倍まで拡大

■ 四半期推移



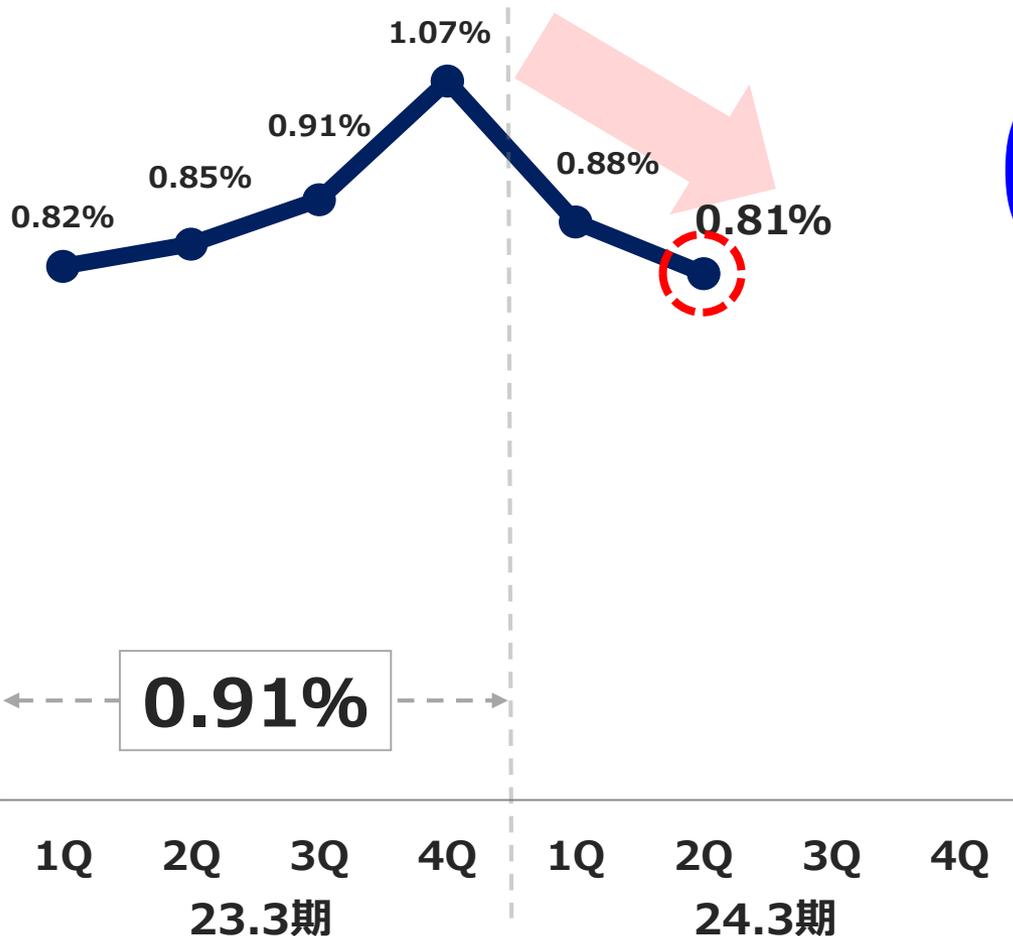
■ 通期予想に対する進捗



※HS (ハンドセット) : スマートフォンとフィーチャーフォンの合計

マルチブランド解約率推移

各社販売手法の見直しにより、市場の流動性が落ち着き
2Qの解約率は1Q比0.07P、前期2Q比でも0.04P改善



0.81%
(YoY -0.04P)

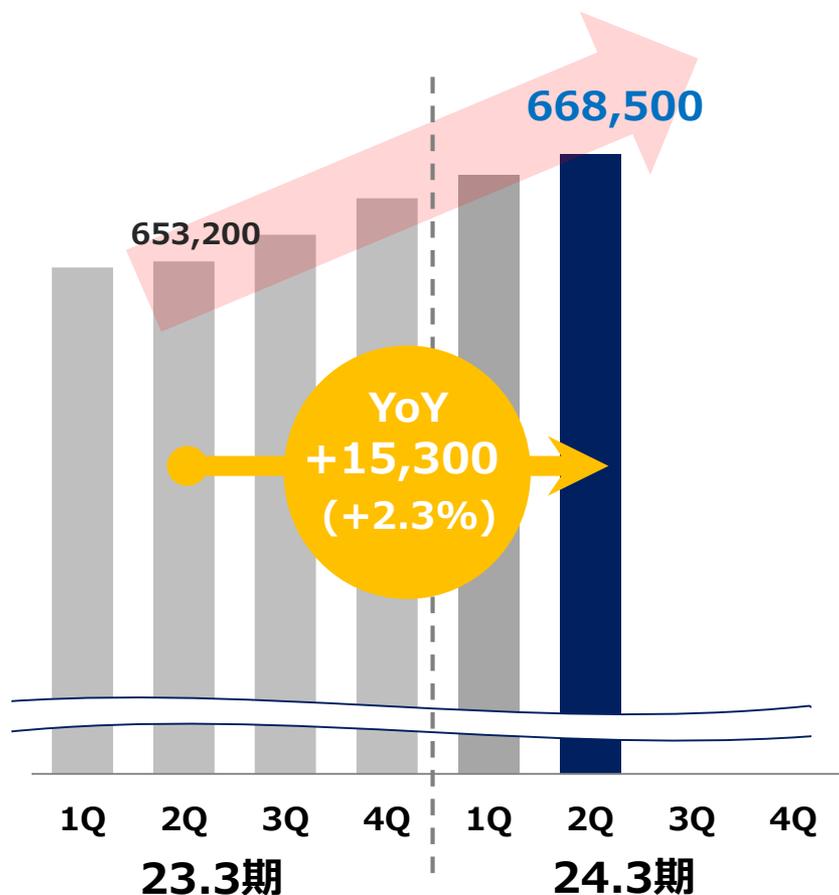


*HS (ハンドセット) :スマートフォンとフィーチャーフォンの合計
*3Gサービス終了に伴う解約は含まない
*携帯電話番号ポータビリティ (MNP制度) を利用してau、UQ mobile povovoの間で乗り換えが行われる際の解約は含まない。

モバイル総契約数推移・au5G浸透率

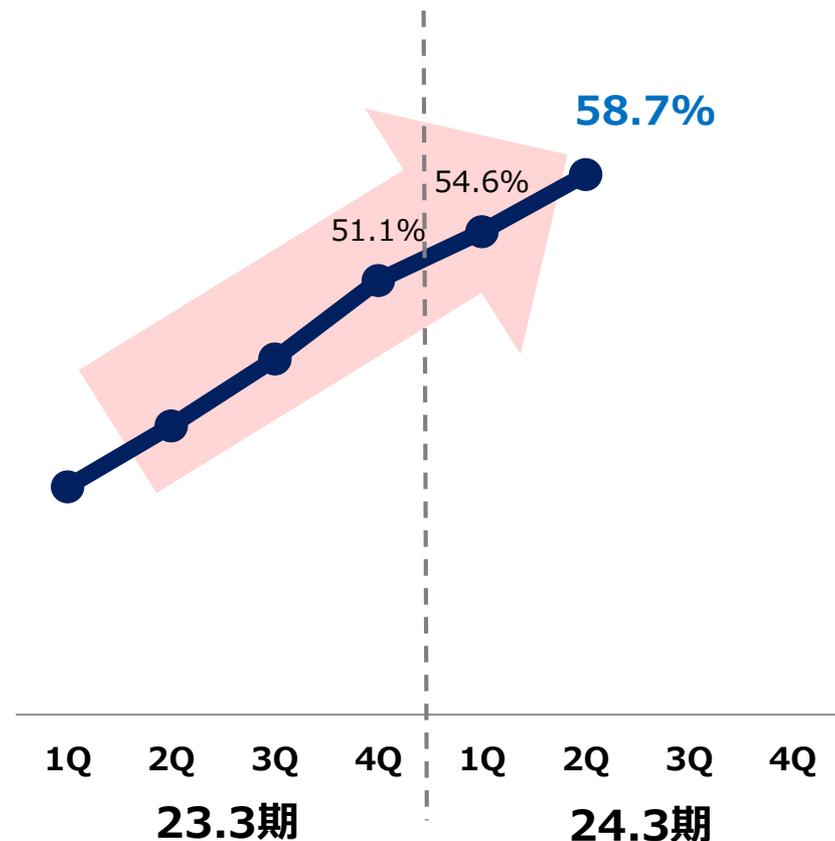
モバイル総契約数とau5G浸透率は着実に増加
5G浸透率は6割近い水準まで伸長

■ モバイル総契約数



※ハンドセット

■ au5G浸透率



※auスマートフォンにおける5G浸透率 13

マルチブランドARPU収入概況

通信ARPU収入は前期比4.1%増
付加価値ARPU収入は前期比15%増と共に伸長

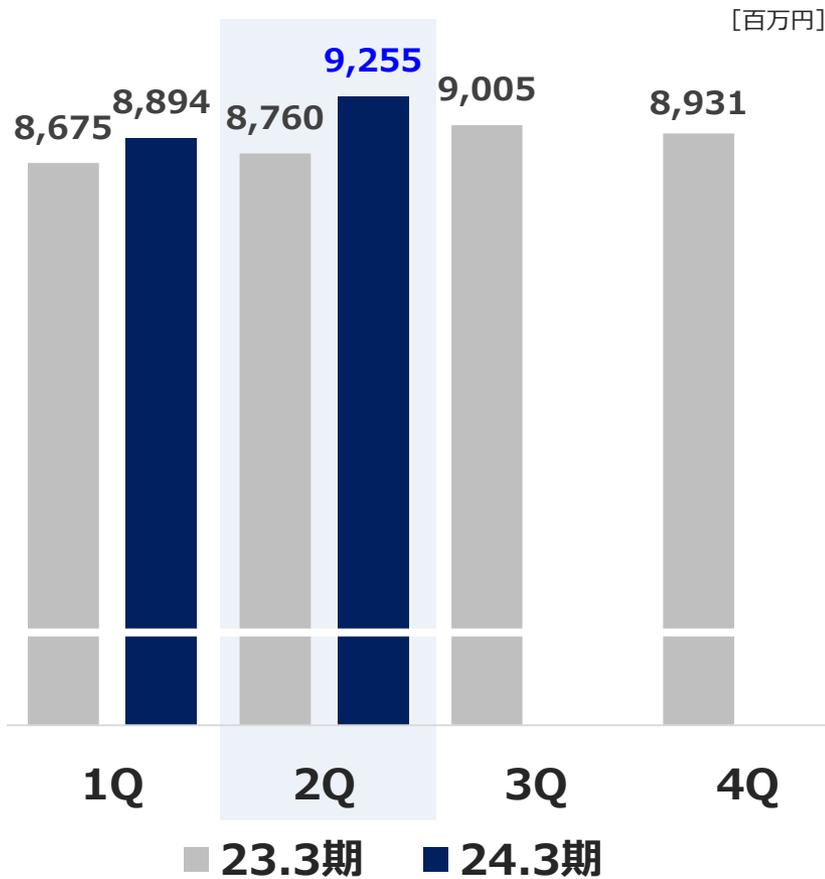
[百万円]	23.3期 上期	24.3期 上期	増 減	増減率
総合ARPU収入	20,416	21,579	+1,162	+5.7%
通信ARPU収入	17,435	18,150	+714	+4.1%
付加価値 ARPU収入※1	2,981	3,429	+448	+15.0%

※1 補償等を含む

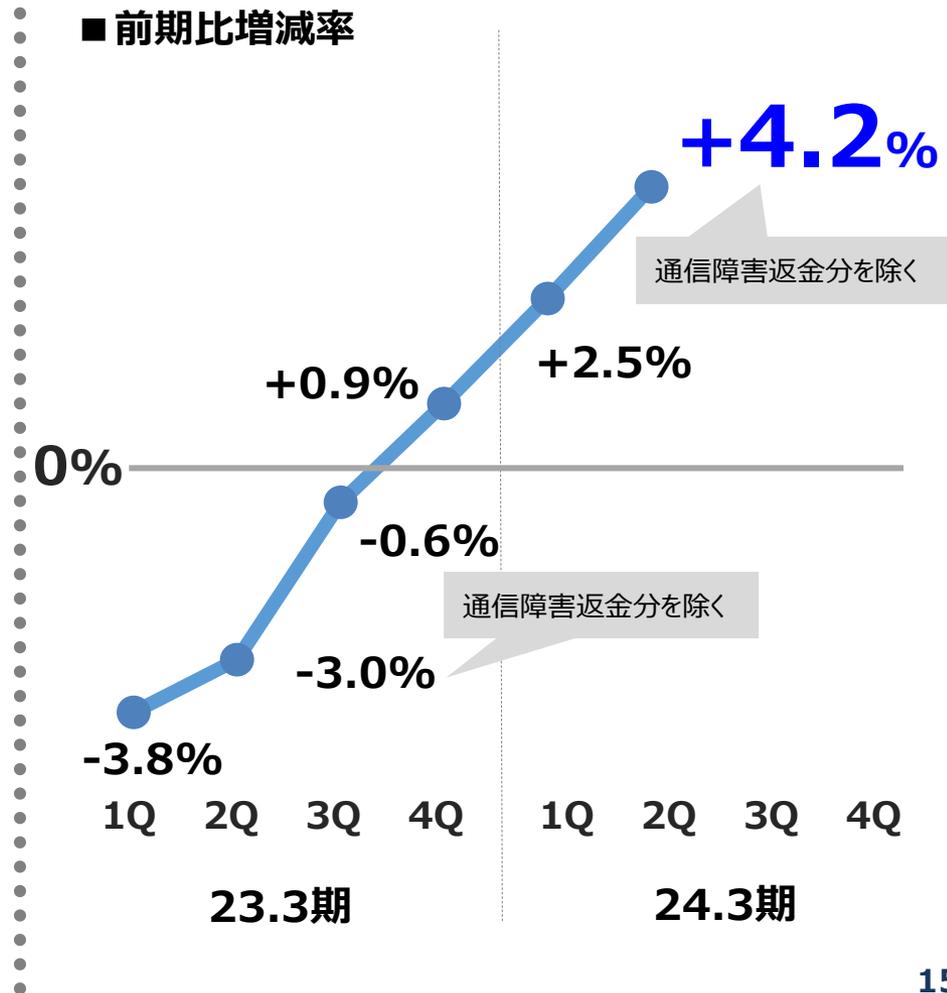
マルチブランド通信ARPU収入

契約数の拡大に加え、高容量プラン比率の上昇やローミング収入拡大により2Qの通信ARPU収入は前期比494百万増

■ 通信ARPU収入



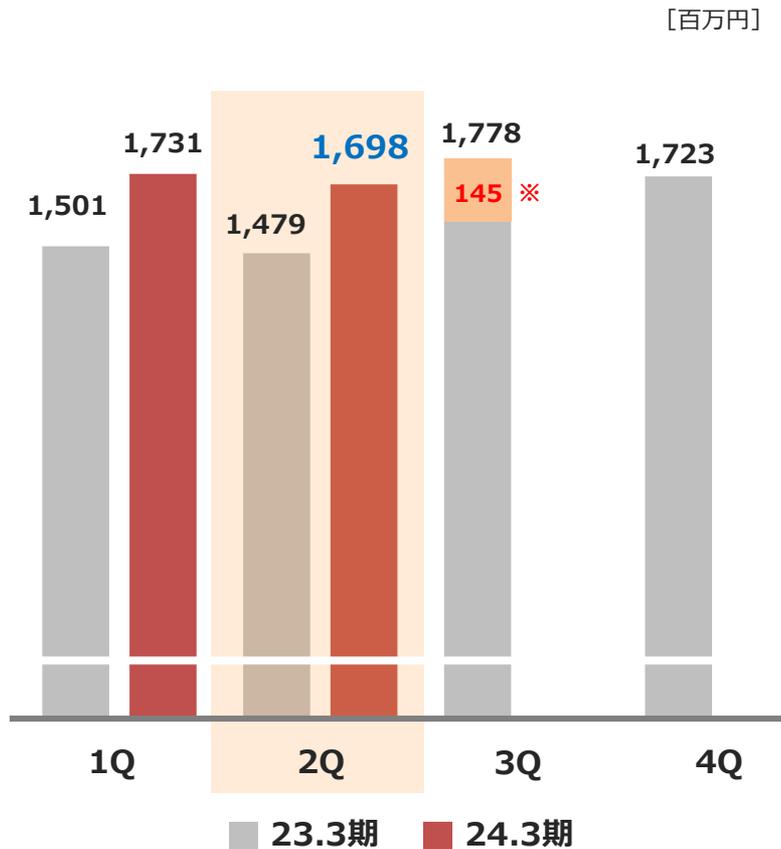
■ 前期比増減率



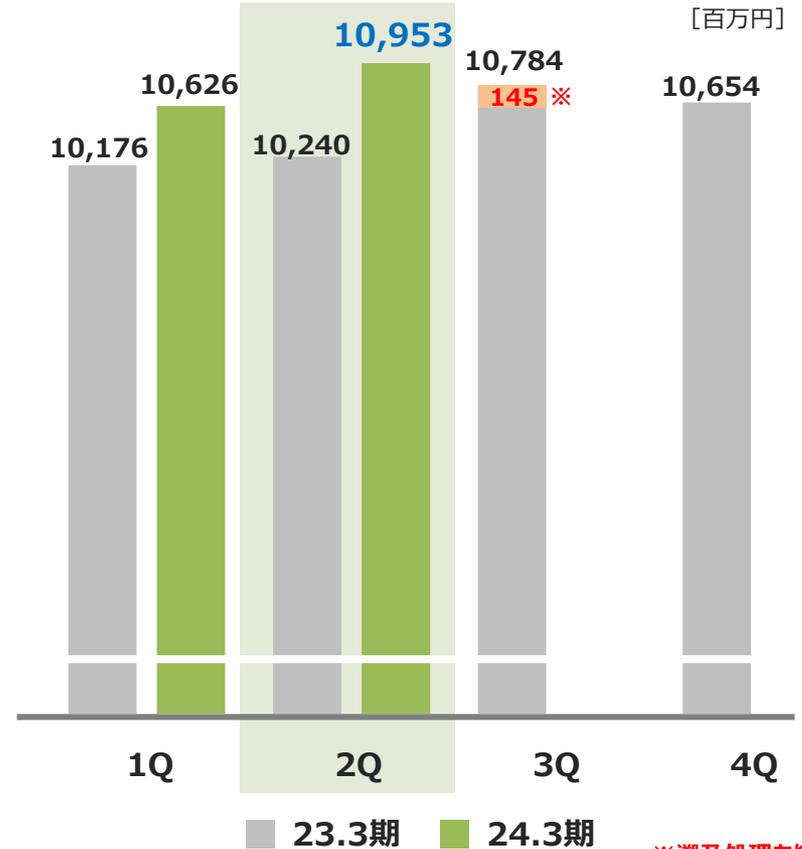
マルチブランド付加価値・総合ARPU収入

2Q付加価値ARPU収入は端末補償サービスやスマパスプレミアム収入が牽引し前期比14.7%増。総合ARPU収入は7.0%増

■ 付加価値ARPU収入



■ 総合ARPU収入



※遡及処理あり

FTTH

au ひかり ちゅら
ひかりゆいまーる

FTTH回線概況

前期を上回る純増を確保
累計回線数は12万回線を突破

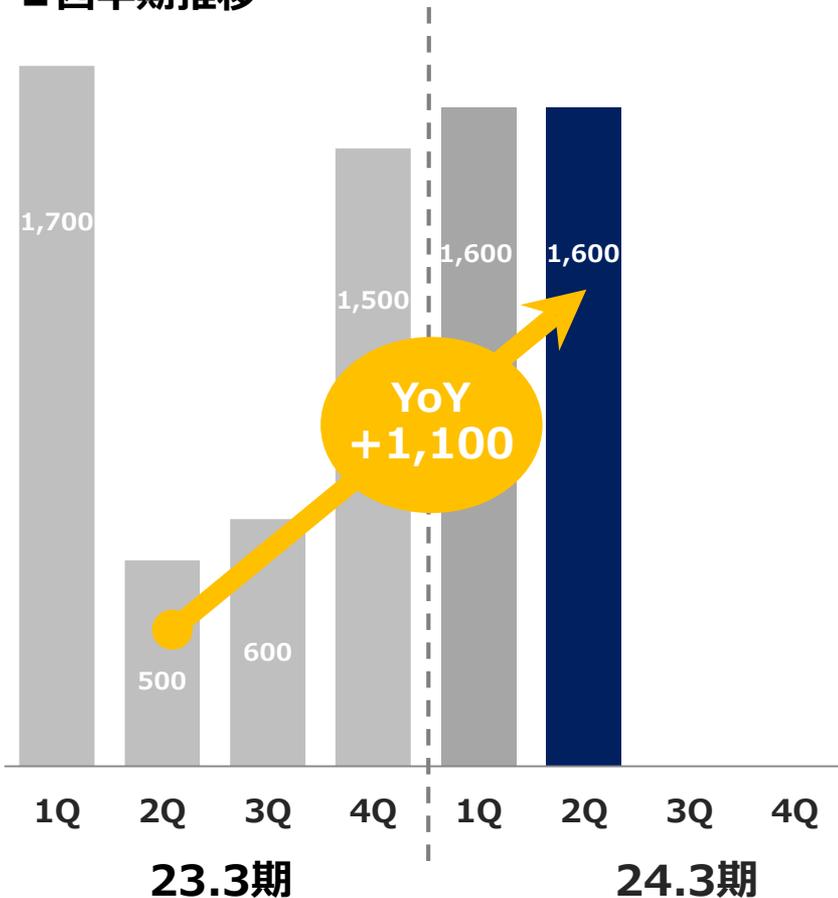
	23.3期 上期	24.3期 上期	増減	増減率
純増回線数	2,200	3,200	+1,000	+45.5%
累計回線数	116,900	122,200	+5,300	+4.5%

※純増回線数、累計回線数は百回線未満を四捨五入しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。

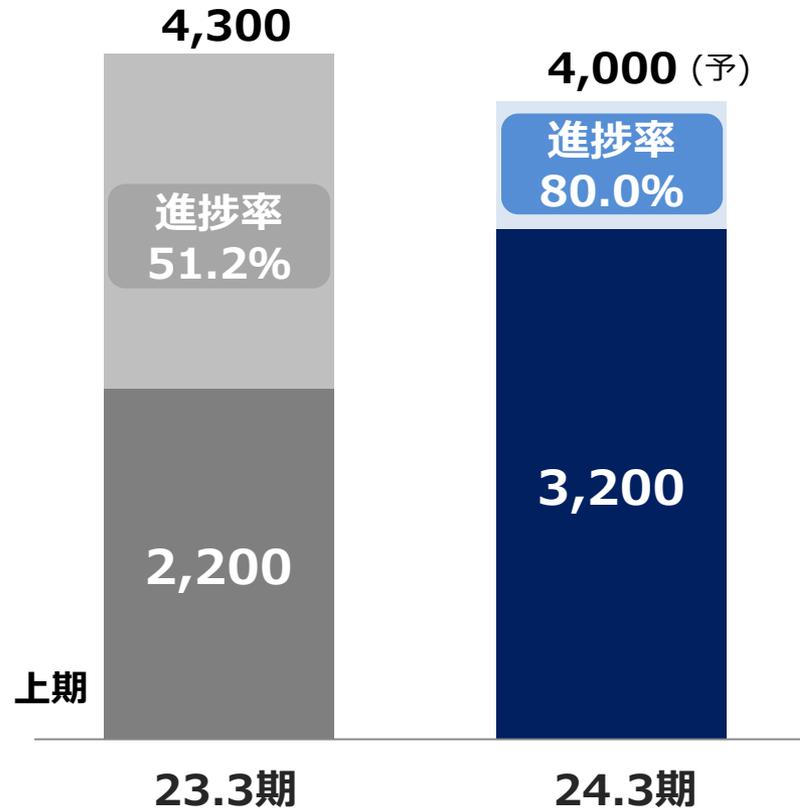
FTTH純増回線数

モバイルの順調な獲得に連動し2Qの純増は前期比3.2倍に増加
通期予想に対しても80%と好調な進捗

■ 四半期推移



■ 通期予想に対する進捗



ライフデザイン

au でんき

powered by 沖縄電力

 沖縄電力 × Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

auでんき契約概況

営業活動正常化により、上期2,400件の純増を確保

	23.3期 上期	24.3期 上期	増減	増減率
純増件数	8,700	2,400	-6,300	-72.4%
契約件数	88,900	65,100	-23,800	-26.8%

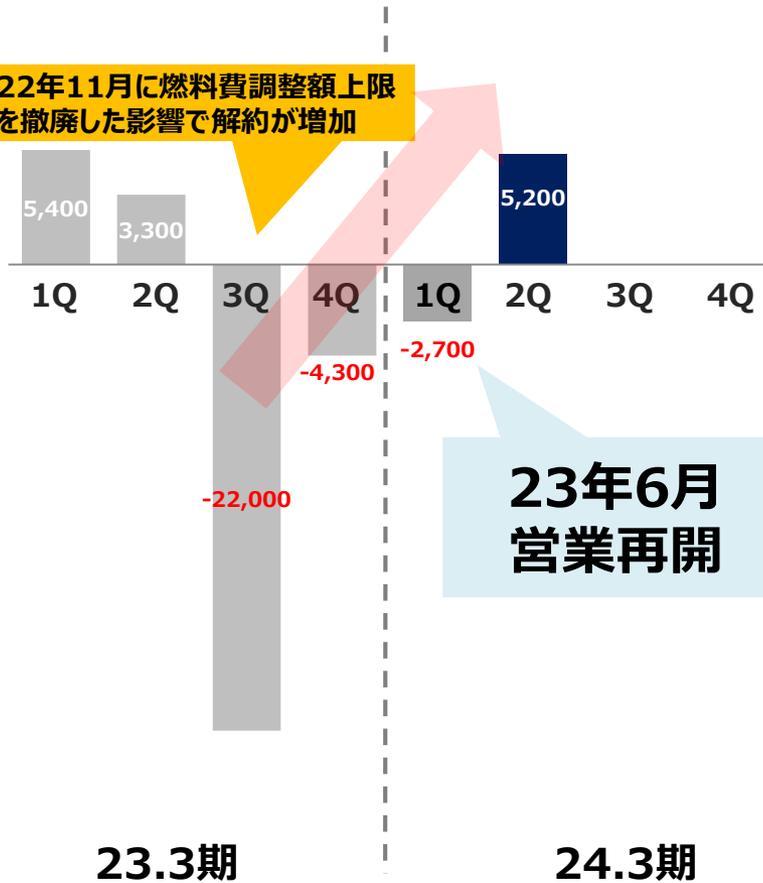
※純増件数、契約件数は百契約未満を四捨五入しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。

auでんき純増契約数

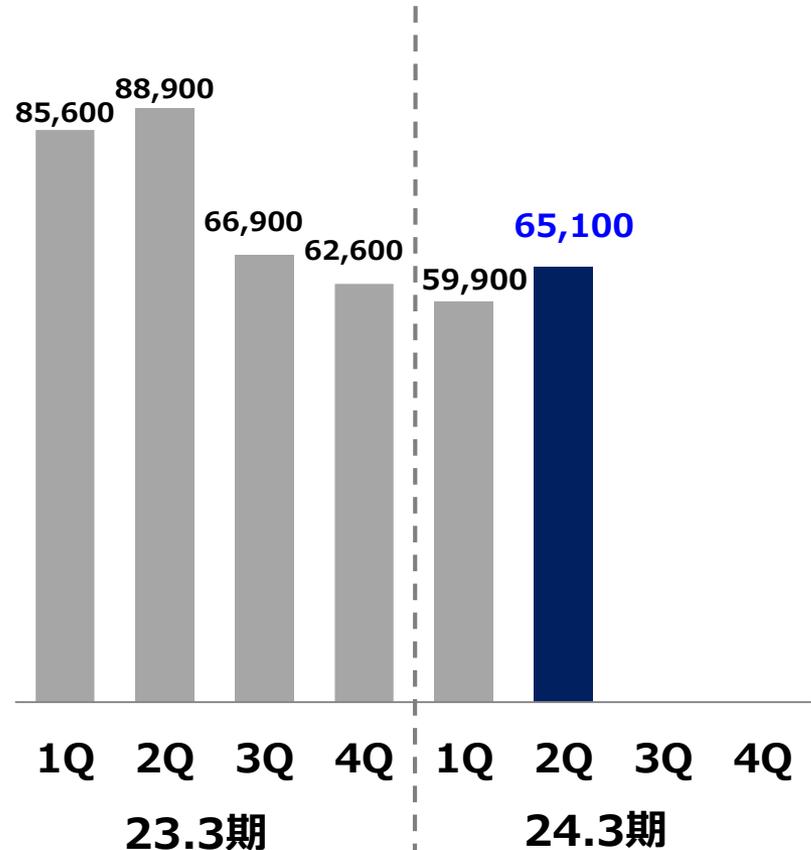
前期3Qから純減していたが、今期2Qから純増に転じ
通期予想を超えるペースで件数獲得。通期予想を上方修正

■ 四半期推移

22年11月に燃料費調整額上限を撤廃した影響で解約が増加



■ 総契約件数推移



サービスデータ（修正予想）

auでんき

	期初 予想	修正 予想	増減
純増件数	1,200	10,000	+8,800

ESG・SDGsへの取組み

(環境・社会・企業統治) (持続可能な開発目標)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



生物多様性への取り組み①

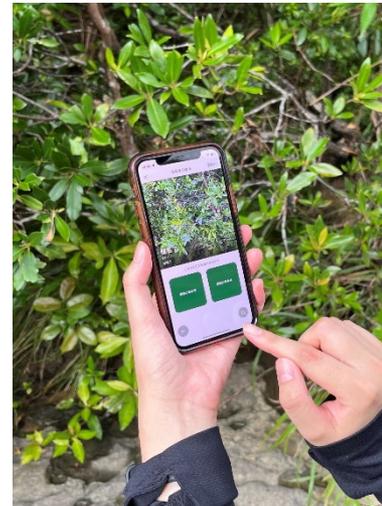


国内初「Starlink Business」を活用した 外来種調査により西表島の生物多様性保全に貢献

■ 浦内川河口から8km地点に設置



■ 基地局電波の届かない森の中で通信



スマホアプリ「Biome」
搭載された最新の
名前判定AIにより
ユーザーが撮影した
画像から動植物の
種類を判定

モバイルが不安定なエリアにおいて、インターネットアクセス回線を構築し、外来種の分布データを収集。世界自然遺産に登録されている西表島の環境保護や外来種対策に貢献

生物多様性への取り組み②

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



沖縄の自然環境を守り、もっと豊かな沖縄へ 生物多様性への関心を高めるメッセージを発信

■ 琉球新報社とコラボ「陸」の生物



■ 沖縄タイムス社とコラボ「海」の生物



県内地元紙とコラボし、複数面に跨り沖縄に生息する希少な動植物を原寸大で紹介。
「わたしたちが絶滅危惧種になるまえに」というメッセージと共に、生物多様性の重要性を発信。

地元貢献への取り組み①

4 質の高い教育を
みんなに

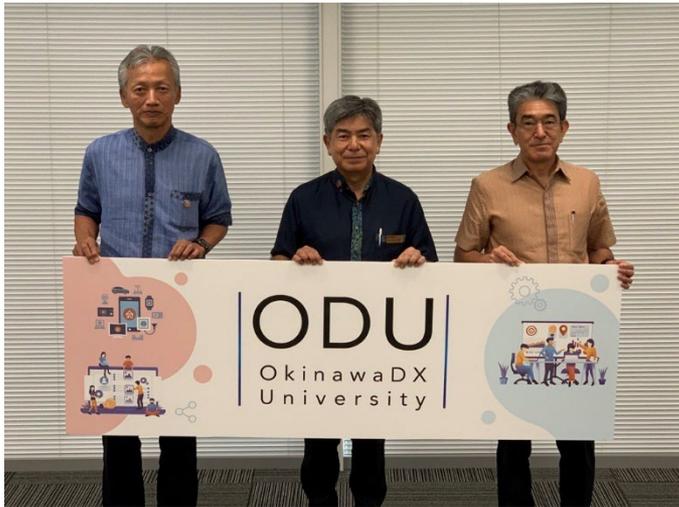


9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

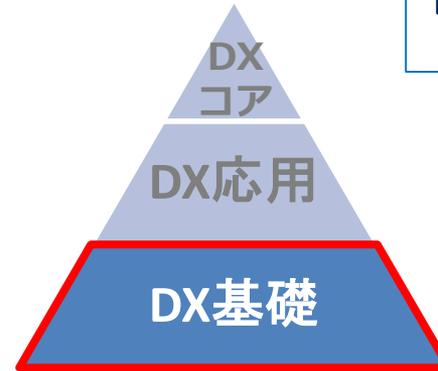


「Okinawa DX University」を創設 DX人材を育成し県経済の発展に貢献

■ 記者会見



■ 実施内容



DXのスタート地点
にいる方



100名に無料提供
(対象は企業及び自治体)

沖縄未来創造協議会※の協力を得て、沖縄県民にオープンプログラムとして提供
労働生産性が全国最下位である沖縄県の生産性向上を図る

※沖縄未来創造協議会：沖縄電力(株)、(株)リボウホールディングス、(株)琉球銀行、(株)沖縄銀行、(株)沖縄海邦銀行、(株)みずほ銀行
当社の7社で構成。事業法人の企画立案力と金融機関の事業構築力を掛け合わせ、県経済の発展に向け政策を提言

地元貢献への取り組み②

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



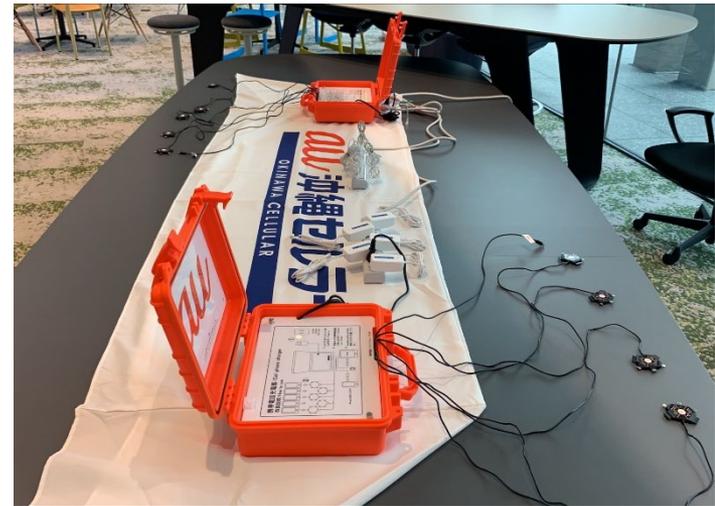
台風6号の影響により停電した世帯への支援として 無料充電サービスを提供

■ 約1週間に渡り沖縄地方に停滞



気象庁「天気図(令和5年8月4日3時)」を加工して作成

■ 本社ビルでの充電サービス



本社ビルや「au Style」「auショップ」「UQスポット」の県内各店舗でサービスを提供
全キャリアの携帯電話・スマートフォンに対応し、県民の通信インフラを確保

地元貢献への取り組み③

11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



豊かな沖縄の海を守るため 環境保全活動の一環としてビーチクリーンを実施



■ 当日回収したゴミ



沖縄の透き通った海を次世代の子どもたちに残すべく、ビーチクリーン活動を実施
今後も定期的なクリーン活動の実施を予定

事業を通じた社会課題解決への取り組み

10 人や国の不平等
をなくそう



地方の雇用推進と多様性のある働き方へ実証実験実施

■ リモートでの研修



■ 在宅勤務時



在宅勤務ニーズと就労意欲の高い地方在住の「ひとり親世帯」「Wワーク希望者」を対象に、在宅環境を整備することで、企業の長期的な人材確保と求職者の安定就労の実現を目的に実施

※(株)アサイアン(<https://www.acyan.jp/>)、アルティウスリンク(株) (<https://www.altius-link.com/>)との合同実証事業

カーボンニュートラル実現への取り組み

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



太陽光発電を活用したサステナブル基地局の運用を開始



**24時間365日
CO₂排出量実質ゼロへ**

晴天の日中は太陽光発電で電源を確保し、夜間などはCO₂フリーメニューの電力供給に切り替えることでCO₂排出量実質ゼロを実現。今後も既設基地局へ展開を進めていく。

その他のご報告

中間・期末配当金を上方修正

通期配当予想を90円から100円(+10円、11.1%増)に上方修正。株主還元の強化、配当性向40%超をコミットメント

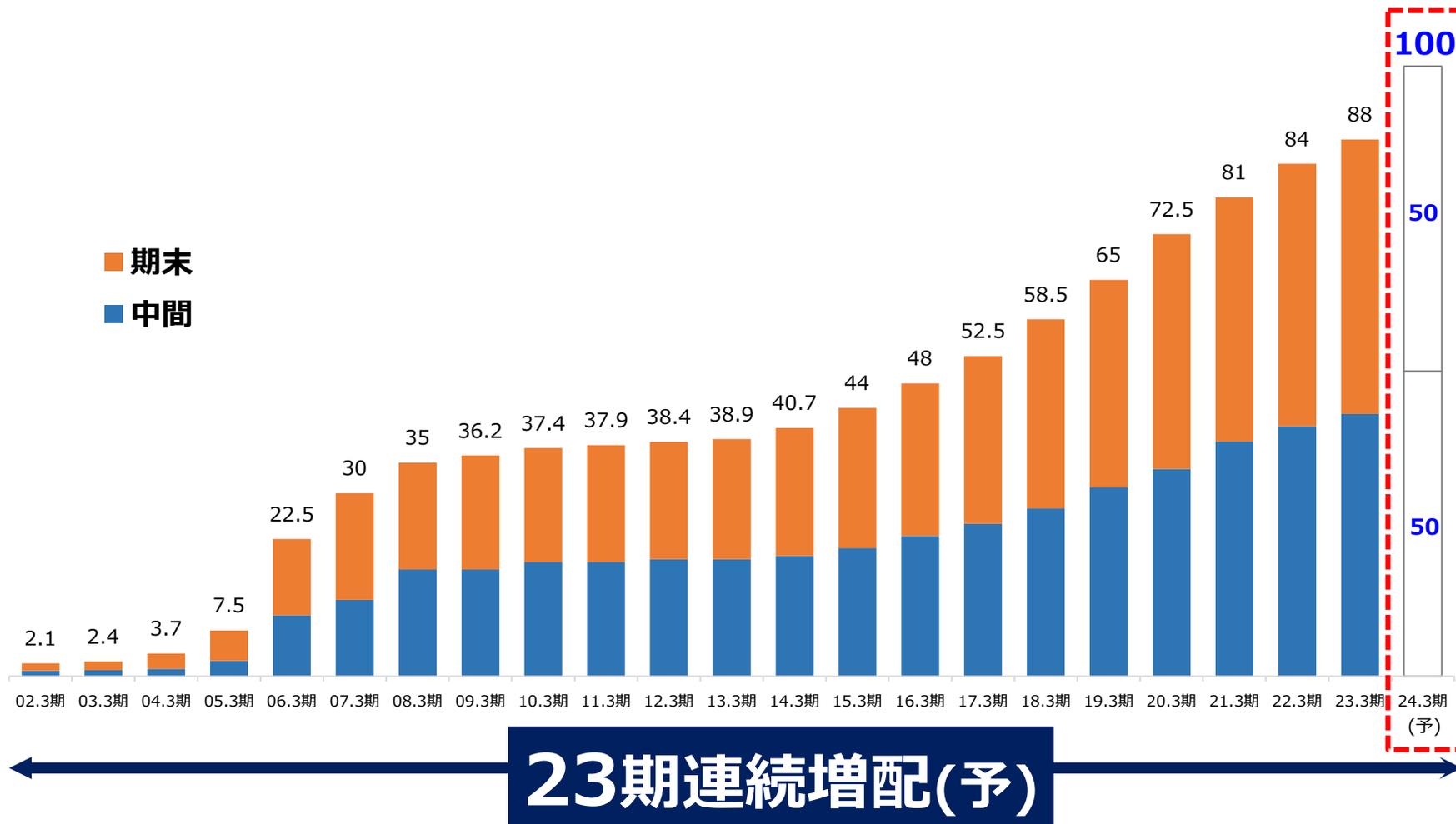
	期初 予想	修正 予想	増 減
中間配当	45円	50円	+5円
期末配当	45円	50円	+5円
通 期	90円	100円	+10円

配当性向※

43.3%

※修正後配当金100円を
2Q公表の1株当たりの当期純利益230.82円
で割った数値

(参考)一株当たりの配当金



※2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施（配当据え置き）しております。

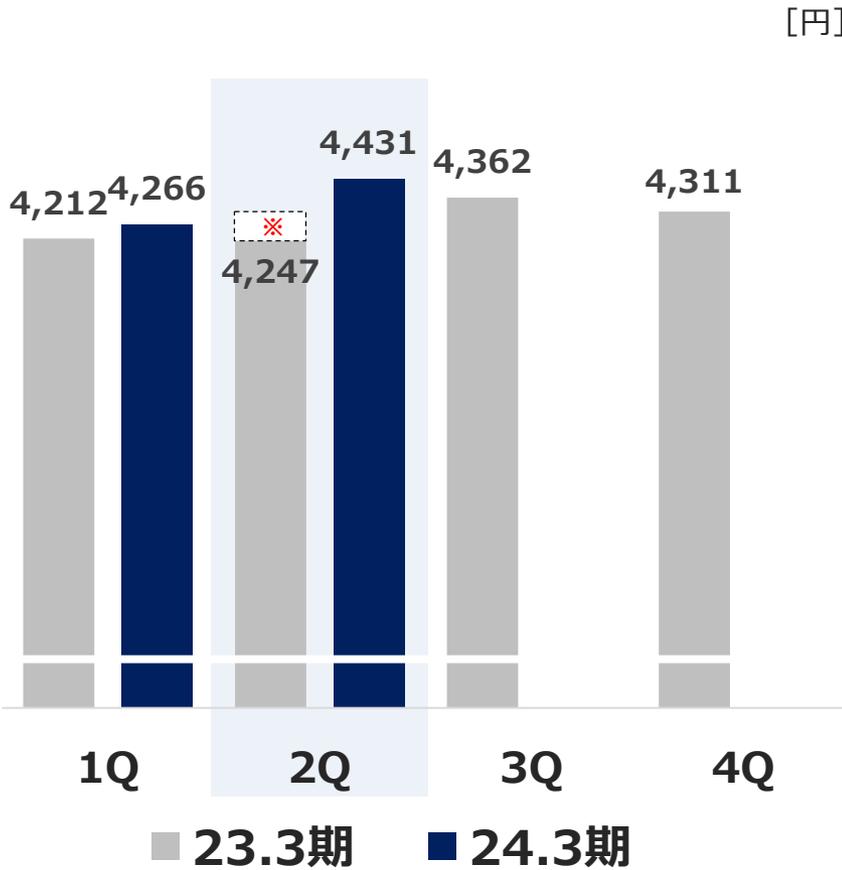
※2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

※2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

※1株当たりの配当金は23年3月期の中間配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

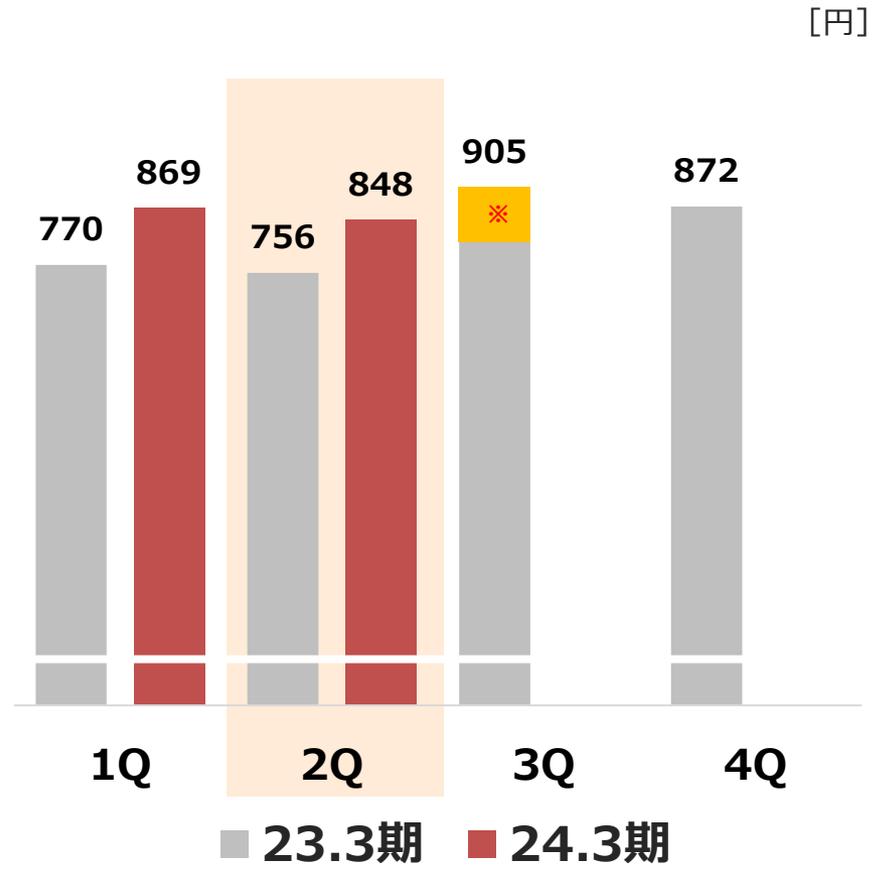
(参考)マルチブランドARPU

■マルチブランド通信ARPU



※通信障害返金分 (63円)

■マルチブランド付加価値ARPU



※遡及処理あり (74円)

※HS (ハンドセット) : スマートフォンとフィーチャーフォンの合計

(参考) 業績の推移

(百万円)	17.3月期	18.3月期	19.3月期	20.3月期	21.3月期	22.3月期	23.3月期	24.3月期 上期
	旧基準	旧基準	旧基準	旧基準	旧基準	新基準	新基準	新基準
営業収益	63,017	65,176	67,013	68,051	74,191	73,426	77,299	38,043
電気通信事業	43,924	45,177	46,357	48,167	50,762	49,849	49,287	25,091
附帯事業	19,092	19,999	20,656	19,883	23,428	23,576	28,011	12,951
営業利益	11,703	12,449	12,949	13,966	14,450	15,222	15,932	9,285
フリーキャッシュフロー	2,976	3,859	4,607	3,056	5,960	4,950	10,704	12,493
関係会社への貸付金増減額を除く	8,572	6,562	5,410	2,856	9,661	10,156	6,262	2,883
設備投資 (竣工ベース)	6,882	6,392	6,910	10,189	5,636	12,192	5,460	3,810
有利子負債残高	459	481	302	420	308	199	106	75

新基準：「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号
2020年3月31日）等を22.3月期から適用



Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

お問い合わせ先
沖縄セルラー電話株式会社
サステナビリティ経営推進部
サステナビリティ経営推進グループ

T E L : 098-951-0639
E-mail : oct-ir@au-mobile.com

- この配布資料に記載されている業績予想及び契約数予想等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。